

---

---

大地みらい信用金庫  
第 102 期（平成 30 年 3 月期）  
決算発表資料



# 「平成 30 年 3 月期決算概況」

## 平成 29 年度の事業方針

平成 29 年度は、理事長方針として「お客さまのために情報力を高める」を掲げ、「情報を知る・準備する・お届けする」サイクルの意義の理解と体系化を進めることで、お客さまに寄り添うための情報力を高め、「お客さまとの生涯取引」をいただけるよう「心尽くしの営業スタイル」の確立と価値創造型金融の実現に向かって取り組んでまいりました。

また、三ヵ年計画「更なる 100 年・新たな金融スタイルの確立へ」の最終年にあたり、時代の変化に果敢に挑戦していく決意のもと、お客さまお一人おひとりのニーズにお応えするための総合的な取引商品の拡充や、「お役に立つ情報力」の強化を通じて「従来型金融から一步踏み込んだ存在価値」を発揮し、地域とともに永続的な繁栄を実現するための努力をしてまいりました。

今後も、信用金庫の原点である「相互扶助」「共存共栄」の精神に基づき地域の価値創造に挑み続けることで、お客さまのご期待にお応えするとともに、皆さまに選ばれ続ける金融機関をめざして役職員一同なお一層努力してまいります。

## 平成 30 年 3 月期決算の概要

### 1. 預金、貸出金、有価証券（末残）の状況

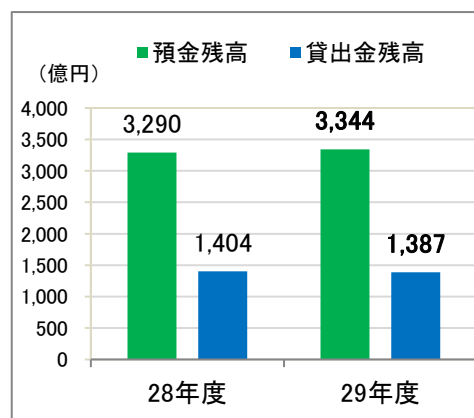
（単位：百万円）

	第 100 期 平成 28 年 3 月期	第 101 期 平成 29 年 3 月期	第 102 期 平成 30 年 3 月期
預 金 残 高	317,785	329,093	<b>334,490</b>
貸 出 金 残 高	137,509	140,423	<b>138,728</b>
有 価 証 券 残 高	143,762	100,059	<b>67,530</b>
総 資 産 額	349,357	357,437	<b>362,263</b>

預金積金残高は、利用者の皆さまから多くのご支持をいただいた結果、平成 30 年 3 月末で、前年より 53 億円増加し、3,344 億円（+1.63%）となりました。

貸出金残高は、平成 30 年 3 月末で、前年より 16 億円減少の 1,387 億円（▲1.20%）となりました。

医療・介護関連融資や自然エネルギー関連などのいわゆる成長分野のお手伝いのほか、農業・漁業など一次産業向けのご支援など、地元企業の皆さまをサポートさせていただくために、積極的な取組みを行ってまいりました。



地方公共団体向けの貸出は前年比 13 億円の減少、一般利用者向けの貸出については前述の事業者向けの取組みに加え、個人のお客さま向けとして職域サポート制度を創設し企業経営者や従業員の皆さまへより良い情報のご提供とご利用しやすいローン制度の開発等に努めましたが、2 億円減少の 1,017 億円となりました。

なお、平成 30 年 7 月に開設 3 周年を迎える札幌支店については、期末で預金残高 60 億円、貸出金残高 110 億円に達するなど業績も順調に推移しております。

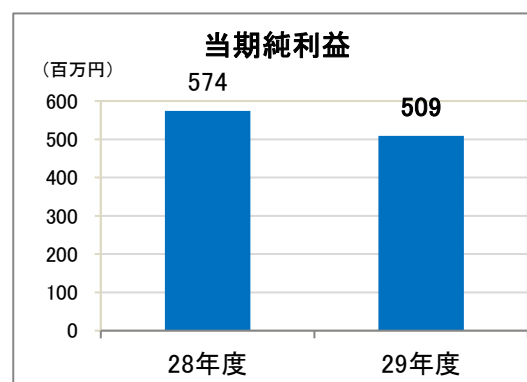
今後も、お客さまの課題やお困りごとに向き合い、心づくしの金融サービスがお届けできるように努めてまいります。

## 2. 利益関連指標

(単位:百万円)

	第 100 期 平成 28 年 3 月期	第 101 期 平成 29 年 3 月期	第 102 期 平成 30 年 3 月期
経常収益	5,698	7,093	5,440
業務純益	980	973	1,440
経常利益	992	880	986
当期純利益	749	574	509

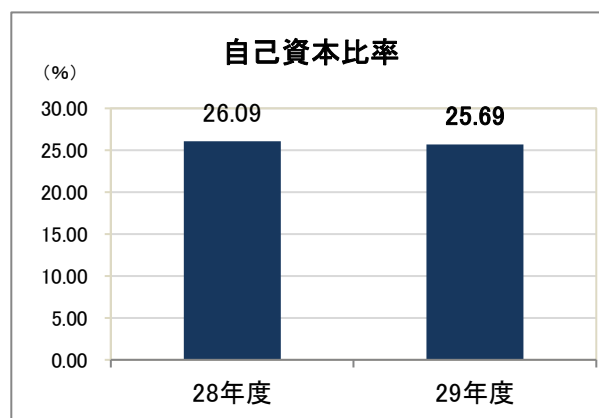
日本銀行による異次元の金融緩和政策によって、貸出金利回りや有価証券利回りが低下しており、当期純利益は 509 百万円と前年を下回りましたが、引き続き安定的な収益を確保することができました。



## 3. 自己資本比率

健全性の指標である自己資本比率は、地方公共団体向け貸出が減少したことに伴い、25.69%へ低下しましたが、国内業務を行う金融機関の基準である 4%を大幅に上回っており、今後の経営環境の変化にも積極的に対応できる水準にあります。

自己資本額は 26,209 百万円と、前年の 25,695 百万円から 514 百万円の増加となりました。



#### 4. 経営諸比率

	第 100 期 平成 28 年 3 月期	第 101 期 平成 29 年 3 月期	第 102 期 平成 30 年 3 月期
自己資本額 (百万円)	25,034	25,695	26,209
リスクアセット (百万円)	89,221	98,467	102,002
預貸率 (未残) (%)	43.27	42.66	41.47
預証率 (未残) (%)	45.23	30.40	20.18
役職員一人当たり預金残高 (百万円)	1,527	1,662	1,733
役職員一人当たり貸出金残高 (百万円)	661	709	718
1 店舗当たり預金残高 (百万円)	13,816	14,308	14,543
1 店舗当たり貸出金 (百万円)	5,978	6,105	6,031
役職員数 (人)	208	198	193
店舗数 (店)	23	23	23

#### 5. 有価証券運用

(単位：百万円)

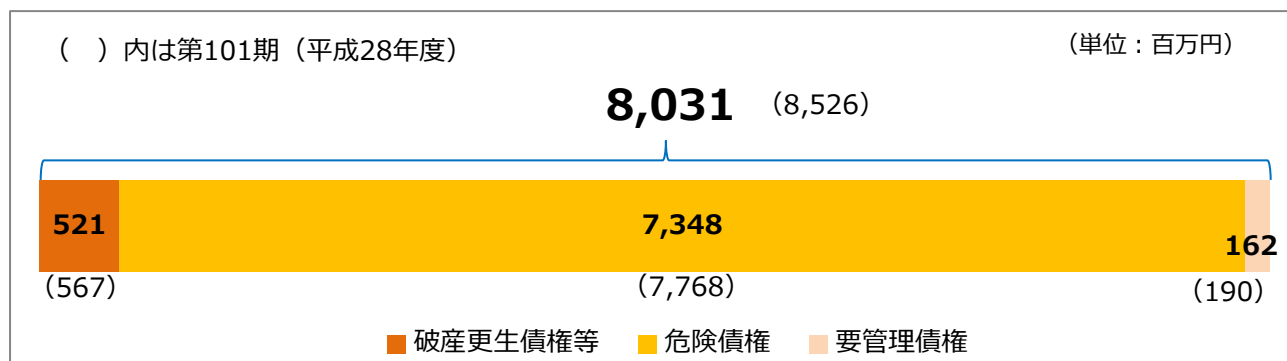
日本銀行の金融緩和政策によって、有価証券の金利は低位に留まっており、有価証券による収益性は低下しておりますが、機動的な有価証券運用の結果、平成 30 年 3 月末の有価証券売買益は同売却損を差引いたネットで 1,060 百万円の売却益を計上でき、高い水準で収益を確保することができました。

平成 30 年 3 月末の有価証券保有残高は、67,530 百万円、時価評価差額は +2,356 百万円となっております。

今後も安定的な運用と適切なリスク管理態勢の強化・充実を図ってまいります。

	第 101 期	第 102 期
保有有価証券未残	100,059	67,530
(内訳)		
国債 (未残)	33,835	11,990
地方債 (未残)	30,797	21,695
社債 (未残)	30,657	17,043
株式 (未残)	479	660
外国証券 (未残)	2,931	14,393
投資信託 (未残)	1,268	1,501
その他の有価証券 (未残)	38	245

## 6. 不良債権額（金融再生法ベース）



平成 30 年 3 月末の不良債権については、平成 29 年 3 月末との対比で 494 百万円減少し、不良債権比率は 5.72%となりました。そのうち担保や貸倒引当金を設定している割合を示す保全率は 99.05%と高水準を維持し、リスクに対する十分な備えをしております。

今後も地域の付加価値向上のためのお手伝いや、金融円滑化に積極的に取り組んでまいります。

## 7. 「経営者保証ガイドライン」への取組み状況について

項目	平成 28 年度	平成 29 年度
新規に無保証で融資した件数	320 件	316 件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	8.57%	8.70%
保証契約を解除した件数	25 件	26 件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限り)	1 件	3 件

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

## 8. 事業承継・資産承継に対するご相談について

高齢化社会の進展や企業を取り巻く事業環境の変化とともに、個人資産の承継や事業承継に関するお客さまの関心・ニーズが高まっています。

当金庫では、平成 27 年 7 月に開設したプレミアムサポートセンターを中心に、お客さまの資産運用、資産承継、事業承継や M&A などについてご相談にお応えしています。

平成 29 年度は、事業承継にかかる相談は 39 件、資産承継や相続に関するご相談 15 件にお応えしております。

自社株評価や相続税試算、遺産分割に関する遺言作成等のご支援や、セカンド・オピニオンとしてのご相談も積極的に受け付けております。

9. 第 102 期（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）の TOPICS

平成 29 年	
5 月	●第 18 回根釧台地金融経済懇談会を開催
6 月	●インターネットバンキングに関するお問い合わせ専用電話窓口として「しんきんEBサポートデスク」を開設 ●さいしんビジネスフェア 2017（埼玉県・さいたまスーパーアリーナ）に参加 ●第 101 期通常総代会開催
7 月	●北海道大学との産学連携協定に基づく事業の一環として、北海道大学訪問プログラムを実施 ●SAPPORO CITY JAZZ「大地みらい信用金庫 presents 山下洋輔スペシャル・クインテット featuring 寺久保エレナ 1Day Live」を開催 ●札幌医科大学との包括連携事業「大地みらい移動医科大学～地域医療のみらいに向けて～」の第 2 回セミナーを開催 ●2017 年ディスクロージャー誌の発行（平成 29 年 3 月期開示）
8 月	●経営内容の四半期開示実施（平成 29 年 6 月期） ●北海道大学との産学連携協定に基づく事業の一環として、特別出前教室を霧多布高校で開催 ●札幌医科大学との連携協定事業「第 5 回メディカル・カフェ with 大地みらい信用金庫」を羅臼支店で開催 ●スコットランド・アイラ島視察
9 月	●地域経済環境の危機対応を目的とした「水産資源環境変化対策支援プログラム」を創設 ●松葉町支店開設 50 周年を記念し、厚岸町で「お客さまとの感謝の夕べ」を開催
10 月	●米国ゼグラム社とのアドベンチャートラベルに関する情報交換会を開催（根室市） ●札幌ジュニアジャズスクール「ジャズの種プロジェクト」交流事業を開催（根室市） ●大地みらい信用金庫 100 年史を発刊
11 月	●釧路新橋支店新築移転オープン ●インバウンド対応おもてなし英会話教室を開催（全 7 回） ●富士山・東北北海道ビジネスマッチング「食&農」こだわりの逸品展示会 2017（静岡県沼津市）に参加 ●第 5 回創新会（i3 フォーラム）を釧路信用金庫若手経営者勉強会と共同で開催（釧路市） ●第 19 回根釧台地金融経済懇談会を開催 ●経営内容の半期開示実施（平成 29 年 9 月期、半期ディスクロージャー誌の発行）
12 月	●松葉町支店開設 50 周年記念講演会を開催 ●札幌医科大学との包括連携事業「大地みらい移動医科大学～地域医療のみらいに向けて～」の第 3 回セミナーを開催



大地みらい移動医科大学  
(H29.7.20、中標津町)



北海道大学特別出前講座  
(H29.8.21、浜中町)



「ジャズの種プロジェクト」交流事業  
(H29.10.21、根室市)



第 5 回創新会（i3 フォーラム）  
(H29.11.17、釧路市)

平成 30 年	
1 月	● 釧路卸売キャラバン商談会に参加
2 月	● スーパーマーケットトレードショー（千葉県・幕張メッセ）に参加 ● 北方領土隣接地域の観光振興に向けたシンポジウムに参加
3 月	● シンガポール流通事情視察 ● FOODEX JAPAN 2018（千葉県幕張メッセ）に KONSEN 魅力創造ネットワークとして 20 企業・団体が出展 ● ボストン、ニューヨーク水産物流視察 ● 経営内容の四半期開示実施（平成 29 年 12 月期）



FOODEX JAPAN 2018  
(H30.3.6~9、千葉市)

＜本資料の記載事項に係るお問い合わせ＞

大地みらい信用金庫

経営企画部

担当：大越、三原、加藤

TEL:0153-24-4102

FAX:0153-24-2801